

指示語の問題

〔確認〕

名前

やってみよう

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

日常よく使う語の中には、一つの語で二つ以上の意味を表す言葉があります。皆さんがよく知っている「足」という言葉も、「人体の一部（あしが長い）」「器物の支え（机のあし）」「歩行（あしが早い）」などの意味を持っています。そのような語を多義語といいます。

もしも多義語を使わなかったら、日常会話が全体的に長い表現を使って行われることになってしまいます。また、多義語を使わなければ、事柄の違いを全て異なる語で説明しなければならなくなり、事柄と同じ数だけの語が必要になってしまうのです。これらが日常語に多義語が多く使われる要因です。

これに対して、「文節」の意味を二つ以上載せている辞書はありません。このことは、さまざまな専門分野に使われる用語の意味は、それぞれに一つしかないのが普通だということを示しています。このような語には厳密さが求められますし、数も少ないので記憶の負担も少なく、多義にする必要がないのです。

一、——線部「そのような」が指し示す内容を文章中から十五字で探して書き抜きなさい。

二、——線部「これら」が指し示す部分を文章中から二文で探して、はじめと終わりの三字を書き抜きなさい。

三、——線部「このこと」が指し示している内容を文章中の言葉を使って答えなさい。

四、——線部「多義にする必要がない」とあるが、その理由として当てはまらないものを次から選んで記号で書きなさい。

- ア、専門分野に使われる用語の意味はそれぞれに一つしかないのが普通だから。
- イ、専門分野で使われる用語には厳密さよりわかりやすさが求められるから。
- ウ、専門分野で使われる用語は数が少なく記憶するのに負担がかからないから。

